

## 東日本大震災以前の震災における UR都市機構の復興支援の取り組み実績

## 復興支援と、さらに安全・安心なまちづくり

1995(平成7)年1月17日に発生し、未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災。その直後に、UR都市機構は、延べ約7,300人の地方公共団体への人的支援、約40haにのぼる応急仮設住宅用地及び3,206戸の賃貸住宅の提供等を行い、全力をあげて被災者支援や復旧活動に取り組みました。この経験を、新潟県中越沖地震での柏崎の復興コーディネートなどに活かし、より安全なまちづくりに貢献していきます。



▲被害状況調査の様子

## 新潟県中越地震\*・福岡県西方沖地震などの被災地支援

被災地の建築物や宅地の被害状況を調査するため、危険度判定業務の指導を行う技術者を派遣しました。また、長岡ニュータウンの用地約10haを応急仮設住宅用地として提供したり、緊急措置として新潟県内の住宅30戸を6ヶ月間無償で貸与するなどの支援活動を行いました。

\*2004(平成16)年10月23日発生

## 阪神・淡路大震災での復興支援

阪神・淡路大震災において、UR都市機構は、建物の危険度判定や賃貸住宅の提供、仮設住宅用地提供などの復旧活動を実施。また、被災市街地復興のため震災復興事業本部を設置し、2万戸を超える住宅建設、12地区での市街地再開発事業、4地区での土地区画整理事業などに取り組みました。



▲震災直後の被害の様子



▲震災復興事業本部(当時)



## 培ったノウハウを活かした、復興支援を

災害に強いまちづくり

## HAT神戸



▲HAT神戸周辺航空写真



▲HAT神戸のメインストリート

神戸三宮の東約2kmに位置する「HAT神戸(神戸東部新都心地区)」は、震災からの復興をめざす「神戸市復興計画」のシンボルプロジェクト。

震災の経験や教訓を生かしたより安全で快適なまちなぎわいと魅力あふれるまちをめざし、良好な居住環境と多様な機能の調和を図っています。土地区画整理事業等の基盤整備や、HAT神戸・灘の浜、脇の浜をはじめとする良好な住宅市街地整備等の役割を担いました。

所在地:兵庫県神戸市/地区面積:約120.0ha



▲風をテーマに潮風をイメージした「灘スカイデッキ」



▲海に面する親水空間「なぎさ公園(水際公園)」

早期復興への貢献

## 玄界島

2005(平成17)年3月20日に発生した福岡県西方沖地震。玄界島は住家全214棟が何らかの被害を受け、UR都市機構は福岡市からの要請により、九州支社内にプロジェクトチームを編成しました。

震災復興初期段階において、被災した島民の皆さまおよび福岡市と密に協議しながら検討を重ね、現地の状況に即した復興計画案(まちづくり案)を策定。

被災からわずか3ヶ月後の島民総会において整備の方向性が決定され、復興事業の早期事業化に貢献し、完全復興への取り組みを支援しました。

所在地:福岡県福岡市/地区面積:約8.0ha

▼震災直後の被害の様子



▲復興完了後の整備されたまちなみ



▲甚大な被害のあった南側傾斜地



▲震災直後の被害の様子



▲復旧後のえんま通り

復興計画策定支援コーディネートを展開

## 柏崎市

2007(平成19)年7月16日に発生した新潟県中越沖地震。阪神淡路大震災や福岡県西方沖地震における復興支援の実績で、柏崎市よりUR都市機構に対して支援要請がありました。これを受けて、「復興公営住宅整備に向けた支援」、「柏崎駅周辺まちなか再生に向けた支援」、「防災拠点整備に向けた支援」、「えんま通り商店街再生に向けた支援」、「被災住宅地の復興に向けた支援」の5つのテーマで、UR都市機構は復興計画の策定支援をコーディネートしました。

所在地:新潟県柏崎市



▲復興公営住宅

街に、ルネサンス